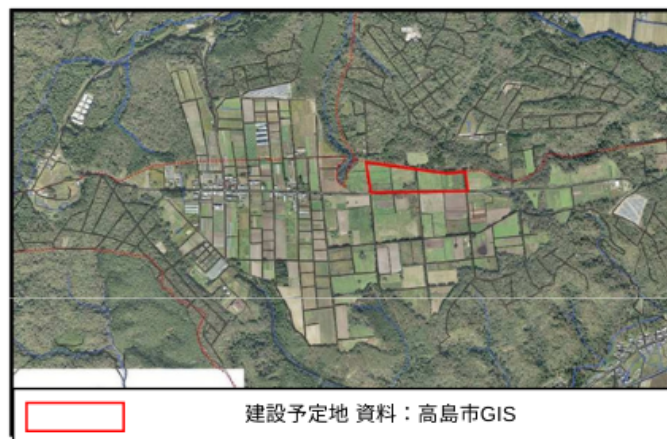


## “新ごみ処理施設建設はどうか？”

令和7年3月定例議会で、新ごみ処理施設の整備について市長に質したところ、現環境センターの場所と泰山寺での建設コストを比較し、予算やスケジュールに影響のない時期に判断し、表明することでした。しかし、これまで建設コスト比較については、泰山寺での建設の方が市の負担額が少ないとは発信されたが、未だにどこで建設するとの表明はされていない状況です。

9月定例会で問い質したところ、「泰山寺で新ごみ処理施設の整備を進める以外は難しいが、泰山寺で建設すると表明をすることは、現時点ではできない」という内容でした。周辺地域のご理解が必要とのことでしたが、ご理解を得るためには、市長が、泰山寺で建設をすると決断し、強い思いをもって、周辺地域のご理解を求めるべきであると考えます。



## “産業用地開発事業はどうか？”

この事業は、滋賀県北部振興の一環で滋賀県が主体となり、高島市と連携して進めるもので、マキノ地域の西浜地先（約17ha）が予定地となっています。

9月議会において、この事業のための条例制定および特別会計を設置しました。このことにより、ようやく調査業務や用地取得など、事業の進捗を進めることが出来るようになりました。

産業用地開発事業による企業誘致の成功が、高島市にもたらす良い影響は、税収増だけでなく人口減少対策、地域経済の振興など、計り知れないものとなることが期待できます。



## 今後の重点取り組み事項

### 「介護現場の状況について」

介護現場で働く方々の、処遇や環境など、まだまだ行き届いていないことがたくさんあると感じています。現場での聞き取りなど現状把握をし、市、県、国へと届けていきたいと考えていますので、ご意見ください。

### 「災害時の避難所運営について」

近年頻発する大災害において、避難所運営の在り方は、人命にもかかわる最も重要な課題の一つです。いつどこで発生するかわからない今日において、高島市もしっかり体制を整えておくべきと考えことから、大災害を経験された事例などを調査研究し、高島市の対策に生かしていきたいと考えています。

### 「交通弱者への買い物支援について」

人口減少、高齢化が進み、さらに大型量販店が出店されてきたことから、地域での買い物が困難になってきています。そこで、何かそういった方たちの買い物を含めた支援が考えられないか調査研究し、対策を考えたいと思っています。

ご意見、ご相談など、遠慮なくいつでもお声がけください。お待ちしております。

令和7年9月

第6号

高島市議会

真志会

母親目線を市政に  
磯部 亜希

こどもがまんなか  
澤本 長俊



## “在宅育児支援事業が継続”

1・2歳児の未就園児を在宅で育児している保護者に対し、月3万円支給される事業が令和11年度まで継続されることになりました。

《真志会では、「ご家庭で保育している保護者にも支援をすべき」とこの事業の継続を訴え、要望してきました。》

## 高島こども園



## “小規模保育事業所2園が廃止”

【今津東保育園】【古賀保育園】

少子化により児童数の減少が進み、保育人材も不足する中、多様化する保育ニーズに対応する体制整備に向けて公立園の再編を進めるためです。

《現在、通園している子どもたち、またこれから入園される子どもたちを、しっかり受け入れられるよう、市内全体のこども園の体制を整えることが大前提であると考えています。》

## “高島こども園が小規模保育所に”

令和10年4月から、高島こども園が、小規模保育所となり、0歳～2歳児のみの受け入れとなります。

《高島地域には、私立しろふじ保育園があり十分受け入れが可能なため、0歳～2歳に限定し、市内全体の保育士不足に対応することは、現状としては致し方ないと考えます。引き続き、保育士の確保に努めていただきたいと考えています。》

## “乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）が実施”

すべての子育て家庭に対し支援を強化するために創設され令和8年4月から実施。

対象児童：市内在住でこども園等に通っていない生後6か月から満3歳未満の乳児

実施場所：高島市立静里なのはな園 利用可能時間：1人／月10時間

《利用料金や利用手続きなどの詳細な内容については、現在、検討中とのことです。》



# マキノ小学校新校舎建設が遅れることに！

令和7年3月の当初予算でマキノ小学校建設の基本設計・実施設計の予算を議会で可決しました。しかし、その予算は執行されないまま4か月が経ち、7月に初めて令和10年4月新校舎建設完了の計画が遅れると議会に報告がありました。

## 【新校舎完成が遅れる理由】

1. 新設と今ある既存校舎の改修との費用比較の精査に時間がかかったとのこと

〔真志会の考え〕昨年4月に概算の経費比較はすでに行われており、その結果により新設案が採用されたのです。その経費比較を精査するのであれば、当初予算で提案する前に済ませておくべきなのです。精査する時間がないのであれば、6月の政策予算であげるべきなのです。

2. 6月議会で請願が出て、事業を進めにくくなったとのこと

〔真志会の考え〕計画を遅れさせてはならないと思っていたのであれば、請願が提出されていても、予算執行は可能なのです。しかもこの請願は不採択となっています。

3. 木造を取り入れた建設ができないか検討していたとのこと

〔真志会の考え〕木造を取り入れるのであれば、時間や経費について、もっと早い段階で検討すべきで結論を出すのが遅すぎます。元々検討されていた木質化（内装に木材を使うこと）で木のぬくもりは十分感じられます。

以上のことから、どの理由も予算執行を止めた合理的な理由とは言えません。市長の判断が右往左往し、決断が遅くなったことが、計画が遅れた要因と考えられます。

子どもたちは新しい校舎を心待ちにしています。保護者の方からも、なんとか令和10年4月に新校舎を開校してほしいというご意見が多数出ています。建設が間に合わなくても統合はされるとのことなので、4月に既存校舎のいずれかへ引っ越しをすることを検討しています。そして、新校舎完成後、また引っ越しということになります。低学年や支援が必要とされるお子さん、教職員の方にもかなりの負担となることが想定されます。



情報公開の徹底を謳う市長ですが、協議会や保護者への説明をされる前に債務負担行為（予算の延長）の予算提案をしようとされていました。合意形成を重視されていると思いきや、マキノ小学校の件では、全く重視されていません。遅れることがわかっていた時点でも、協議会には明確な説明はされていませんでした。

子どもたちや保護者、協議会、地域の方々の気持ちが置き去りにされています。このような進め方に私たちは憤りを感じ、異を唱えております。子どもたちにちゃんと目を向けてほしい、覚悟と責任をもって進めてほしい、ただそれだけです。

## 東近江市永源寺中学校

8月25日

視察研修

《目的》マキノ小学校新築に向けて今後の進め方の参考にするため。また、木質化で作られた校舎を視察するため。

《成果》構造自体を木造にできないか検討されたそうですが、学校の供用開始に間に合うことを一番に考え、木材調達の難しさから構造は鉄骨構造を選択されたとのことでした。内装には可能な限り木材を使用し、木質化されていました。実際に見て木造構造でなくても、鉄筋コンクリートや鉄骨構造で内装を木質化することで、十分に木のぬくもりを感じられ、優しい空間になることがわかりました。

《真志会として》：マキノ小学校の新築完成予定の令和10年4月に、どのような構造であっても間に合わせていただきたいと考えています。そのうえで、内装を木質化し、子どもたちが木のぬくもりや優しさを感じられる環境を整えていただきたいと考えています。



内装を木質化した例

## 長野県青木村・駒ヶ根市

7月23・24日

《目的》滋賀県と進める産業用地開発事業（企業誘致＝マキノ地域）を着実に進め、高島市の経済、雇用、地域振興などに繋げるため

《成果》2カ所共に、企業誘致は「首長のトップセールス」によるところが大きく、企業が内定した後に企業の思いに合わせた造成をすることで、造成費用も抑えられるという進め方を教えていただきました。

また、現有企業でも人材確保に苦労されている中、新たな企業によって人材確保がさらに難しくなるということがわかりました。《真志会として》：市長自らが、この産業用地開発事業を成功させるという強い思いをもって進めていただきたい。

人材確保については、企業誘致と移住定住をセットに考えて、人材確保につなげていく政策を同時に進めなければならないと考えます。



## 道の駅 マキノ追坂峠

8月5日

《目的》市内で買い物に行きづらい方から移動販売のご要望が複数寄せられていることから、実際に実施されている事業所から人材や必要経費等の実情を聞き取り、今後の実現性について調査するため。

《成果》収支的に非常に厳しい状況ですが、ボランティア精神で頑張っていることがわかりました。他にも人材や販売品の調達、販売車の維持など、様々な課題があることがわかりました。

《真志会として》今後も買い物難民といわれる方々が増えてくることが想定されるため、移動販売も含めそういった方々の支援を様々な角度から調査研究し、少しでも支援に繋がれるよう取り組んでまいります。

